



べと病・疫病、
攻めの防除に
ジャストフィット。



®ジャストフィットはバイエルグループの登録商標

バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078
9:00~12:00, 13:00~17:00 土日祝日および会社休日を除く

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



特長
ジャストフィット[®]フロアブルの特長

- ① 2種類の有効成分**フルオピコリド**と**ベンチアバリカルブイソプロピル**の混合剤で、卵菌類に属するべと病菌や疫病菌に優れた効果を発揮します。
- ② 作用機作の違う2種類の有効成分の混合剤ですので、耐性菌発達のリスクが小さいです。また、既存の薬剤耐性菌に対しても効果を発揮します。
- ③ 予防効果に優れるとともに治療効果も兼ね備えていますので、感染初期段階での病斑拡大も阻止します。
- ④ 優れた浸透性と浸透移行性を有します。
- ⑤ 残効性と耐雨性に優れます。
- ⑥ 適用作物・人畜・有用生物などに対し優れた安全性があります。
- ⑦ 薬液による作物への汚れが少ない薬剤です。

適用病害および使用方法

農林水産省登録 第23101号 (2023年4月現在の登録)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期*	使用回数*			使用方法	
					本剤	フルオピコリド	ベンチアバリカルブイソプロピル		
かんきつ	褐色腐敗病	べと病	5,000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで 収穫30日前まで	3回	3回	3回	散布
ぶどう				100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回			
きゅうり			500倍	セル成型育苗トレイン箱 または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	定植前日 ~ 定植当日	1回	3回 (灌注は1回、 散布は2回)	3回 (灌注は1回、 散布は2回)	灌注
レタス 非結球レタス									
はくさい	べと病 白さび病	5,000倍	収穫7日前まで	100~300ℓ/10a	3回	3回	3回	散布 無人航空機 による散布	
たまねぎ	白色疫病	3,000倍							
	べと病	24倍							

*印は収穫物の残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農葉の総使用回数の制限を示します。

注意事項

- 散布液調製時には、瓶をよく振って内部の成分をよく攪拌してから薬量を計つて下さい。
- 調製した薬液は、調製した当日に使い切って下さい。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
○散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
○散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
○散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 灌注処理する場合は、軟弱徒長苗、未熟苗、高温乾燥時や過剰使用により葉緑に褐変や黄化などの薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。また、本剤が土壤に十分吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさけて下さい。

物理的化学的性状

有効成分名	フルオピコリド	ベンチアバリカルブイソプロピル
系統名	アシリピコリド系	アミノ酸アミドカーバメート系
化学名	2,6-ジクロロ-N-[3-クロロ-5-(トリフルオロメチル)-2-ビリジルメチル]ベンズアミド	イソプロピル=[(S)-1-[(R)-1-(6-フルオロ-1,3-ベンゾチアゾール-2-イル)エチル]カルバモイル]-2-メチルプロピル]カルバマート
成分量	33.0%	12.0%
構造式		
分子量	383.6	381.46
水／オクタノール分配係数(logPow)	3.26(22±1°C)	2.52
蒸気圧	3.03×10⁻⁷Pa(20°C)	<3.0×10⁻⁴Pa
水溶解度	3.02mg/l(20°C)	13.14mg/l(20°C)
急性経口毒性(ラット♂♀)	LD ₅₀ >5,000mg/kg	LD ₅₀ >5,000mg/kg
急性経皮毒性(ラット♂♀)	LD ₅₀ >5,000mg/kg	LD ₅₀ >2,000mg/kg
作用機構・作用点 FRACコード	B5:スペクトリン様蛋白質の非局在化 殺菌剤分類 43	H5:セルロース生合成酵素 殺菌剤分類 40

安全性
人畜毒性(製剤) 普通物*

急性経口毒性(ラット♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
急性経皮毒性(ラット♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
皮膚一次刺激性(ウサギ)	刺激性なし
眼一次刺激性(ウサギ)	刺激性なし
皮膚感作性(モルモット)	感作性なし

*毒劇物に該当しないものを指す通称

水産動植物への影響(製剤)

コイ LC ₅₀ (96hr)	4.33mg/l
オオミジンコ EC ₅₀ (48hr)	>1,000mg/l
藻類 E:C ₅₀ (72hr)	431mg/l

有用生物への影響(原体)

試験の種類	供試動物	フルオピコリド	ベンチアバリカルブイソプロピル
急性経口毒性試験	カイコ	軽い生育遅延	影響なし
急性経口毒性試験	ミツバチ	LD ₅₀ (24~72h) >241μg/頭	LD ₅₀ (48h) >100μg/頭
急性接触毒性試験	ミツバチ	LD ₅₀ (24~72h) >100μg/頭	LD ₅₀ (48h) >100μg/頭
急性毒性試験	アオムシサムライコマユバチ(成虫)	影響なし	—
急性毒性試験	タリクヒメハナカメムシ(成虫)	影響なし	影響なし
急性毒性試験	キクヅキコモリグモ	影響なし	—
急性毒性試験	ヤマトクサカゲロウ(幼虫)	—	影響なし
急性毒性試験	チリカブリダニ(成虫)	—	影響なし
急性毒性試験	ミヤコカブリダニ(若虫)	ほとんど影響なし	—
急性毒性試験	ミニズ	LC ₅₀ >1,000mg/kg	LC ₅₀ >1,000mg/kg

鳥類への影響(原体)

	供試動物	フルオピコリド	ベンチアバリカルブイソプロピル
急性経口毒性試験	コリンウズラ	LD ₅₀ >2,250mg/kg	LD ₅₀ >2,000mg/kg
急性経口毒性試験	マガモ	LD ₅₀ >2,250mg/kg	LD ₅₀ >2,000mg/kg

作用特性

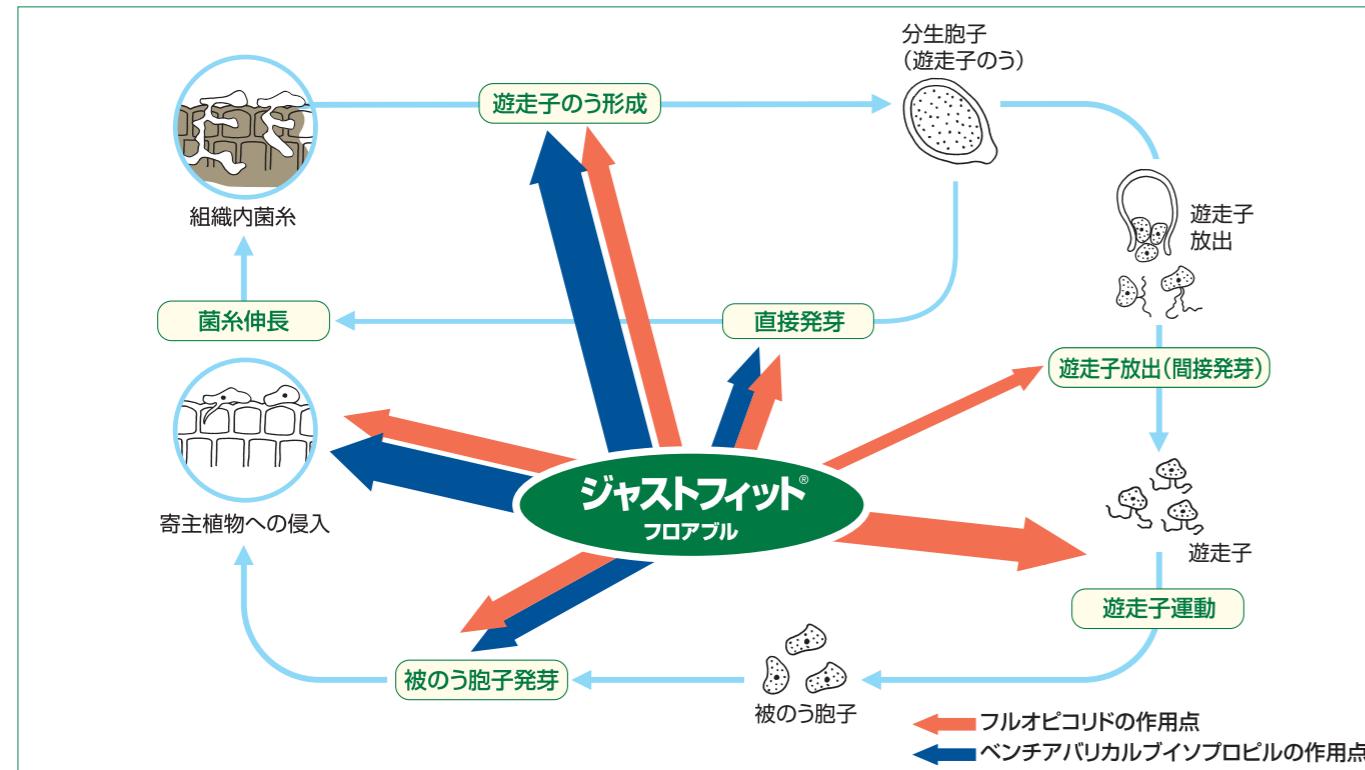
フルオピコリド

- ① フルオピコリドは、病原菌の細胞膜の強度に関するスペクトリン様タンパク質に作用し、その網目状構造を破壊し、最終的に病原菌の細胞を破壊します。
- ② べと病菌、疫病菌に活性を示し、病原菌の生活環におけるほぼ全ての段階を阻害する作用特性があり、特に遊走子運動阻害に対する効果が高いです。
- ③ 予防効果と治療効果を兼ね備えていますので、圃場で安定した効果が期待できます。
- ④ 優れた浸透性と浸透移行性があります。
- ⑤ 既存剤との交差耐性を示しません。

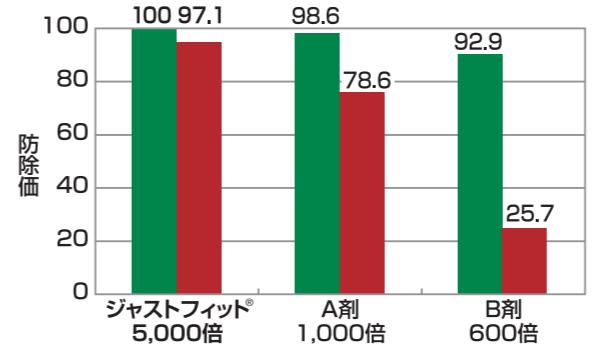
ベンチアバリカルブイソプロピル

- ① ベンチアバリカルブイソプロピルは、病原菌の細胞壁の生合成を阻害します。
- ② べと病菌、疫病菌に低濃度で高い防除効果を示し、菌糸生育、遊走子のうの直接発芽や被のう胞子の発芽を強く抑制し、遊走子のうの形成自体も低濃度で阻害し、次世代の病原菌密度を低減する効果が期待できます。
- ③ 予防効果だけでなく、治療効果も兼ね備えていますので、感染後の散布でも防除効果が期待できます。また、感染初期段階での病斑拡大も阻止します。

べと病菌・疫病菌の生活環における阻害部位 (模式図は疫病菌)

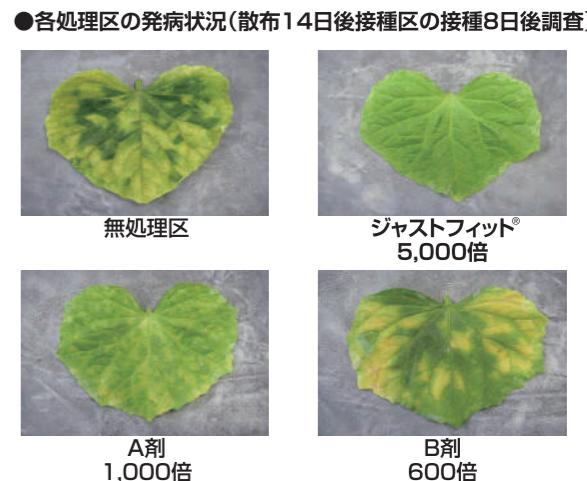


残効性について (きゅうり べと病)



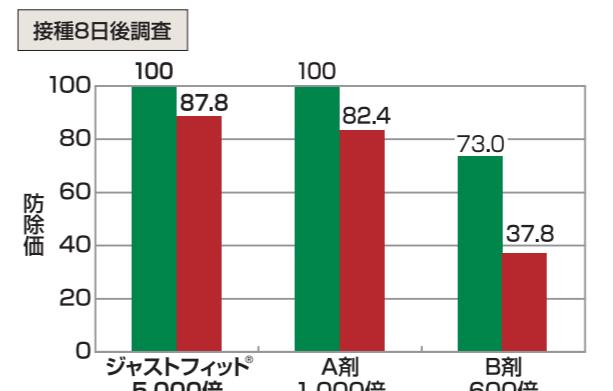
品種：四葉 区制：1区1ポット 5連制
無処理発病面積率：散布7日後区 70.0% 散布14日後区 70.0%
■ 散布7日後接種 ■ 散布14日後接種

試験方法
平成20年4月9日もしくは4月16日にきゅうり第1葉の葉表に、供試薬剤(展着剤クミテン5,000倍加用)を散布した。4月23日(散布14日後もしくは散布7日後)に葉裏にキュウリべと病菌(*Pseudoperonospora cubensis* QoI剤耐性菌優占菌群)を噴霧接種し、ガラス温室内の加湿条件下で栽培した。調査は接種8日後の5月1日に、第1葉の発病程度について調査した。



平成20年 バイエル クロップサイエンス株式会社 結城中央研究所

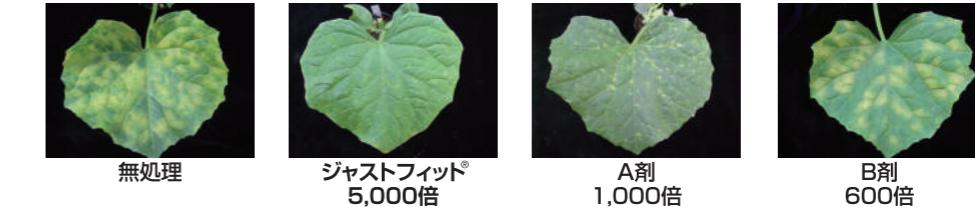
治療効果について (きゅうり べと病)



品種：四葉 区制：1区1ポット 5連制
無処理発病面積率：接種8日後区 74.0% 接種14日後区 88.0%
■ 接種24時間後散布 ■ 接種48時間後散布

試験方法
平成20年2月6日にきゅうりの第1葉に、キュウリべと病菌(*Pseudoperonospora cubensis* QoI剤耐性菌優占菌群)を噴霧接種した。接種24時間後もしくは接種48時間後に、供試薬剤(展着剤クミテン5,000倍加用)を散布した。2月14日(接種8日後)および2月20日(接種14日後)に、第1葉の発病程度について調査した。

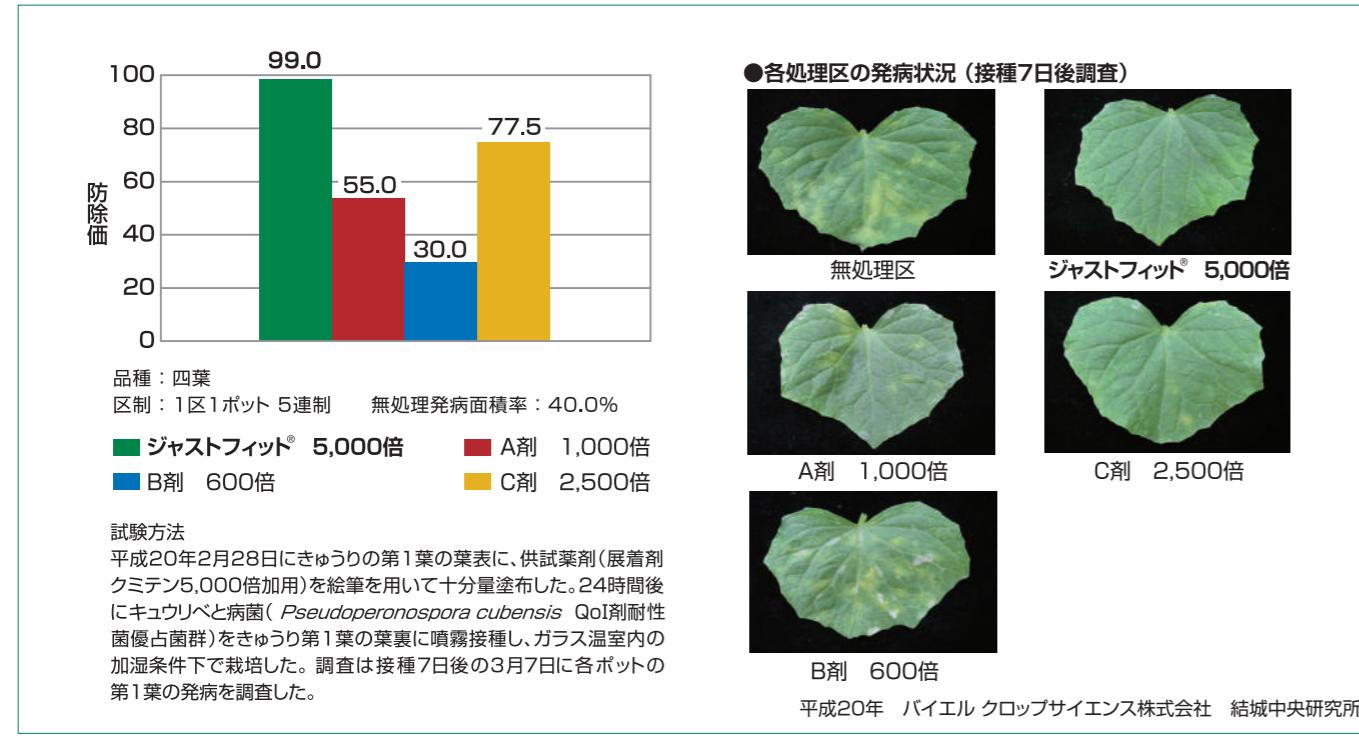
●各処理区の発病状況(接種48時間後散布区の接種14日後調査)



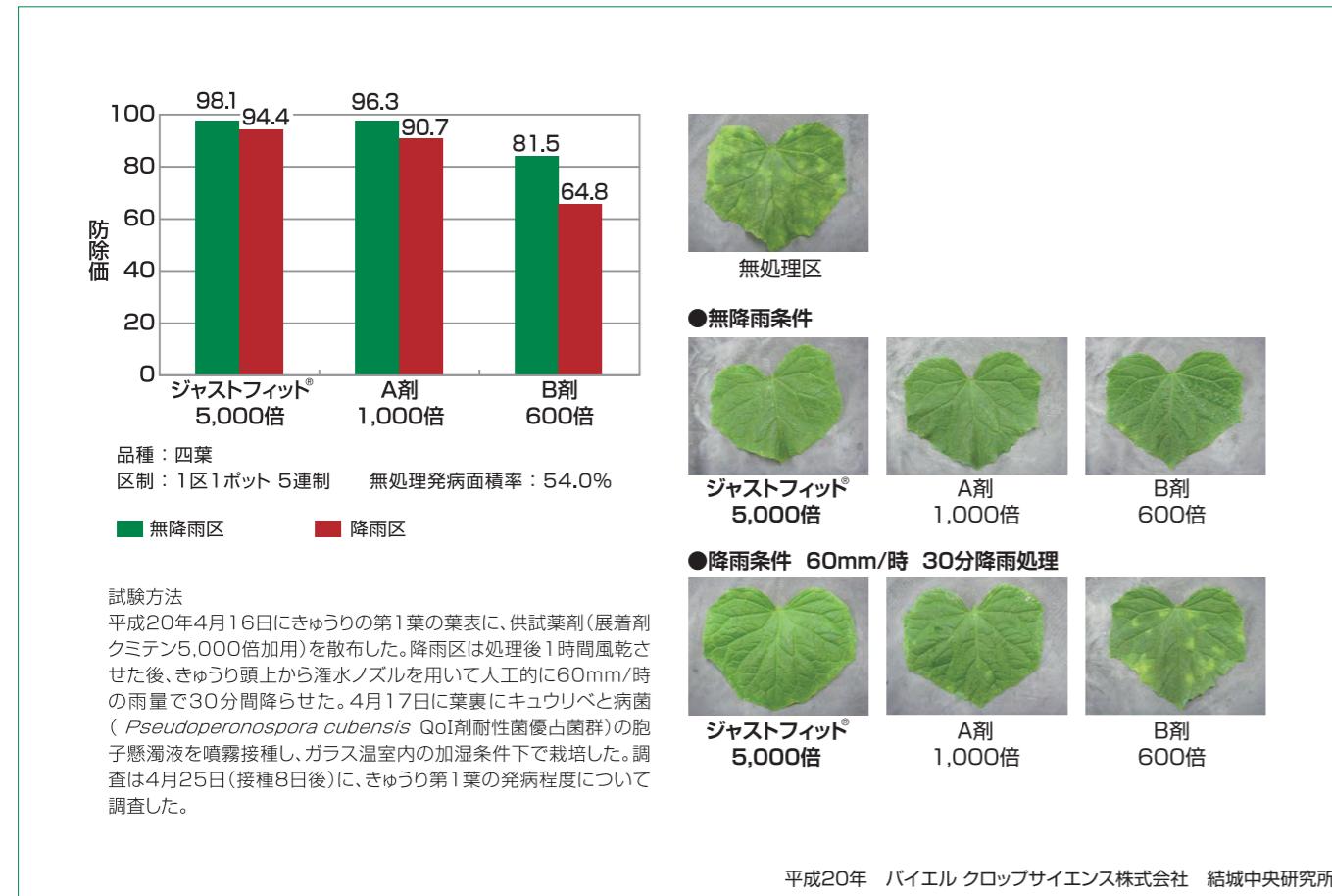
平成20年 バイエル クロップサイエンス株式会社 結城中央研究所

作用特性

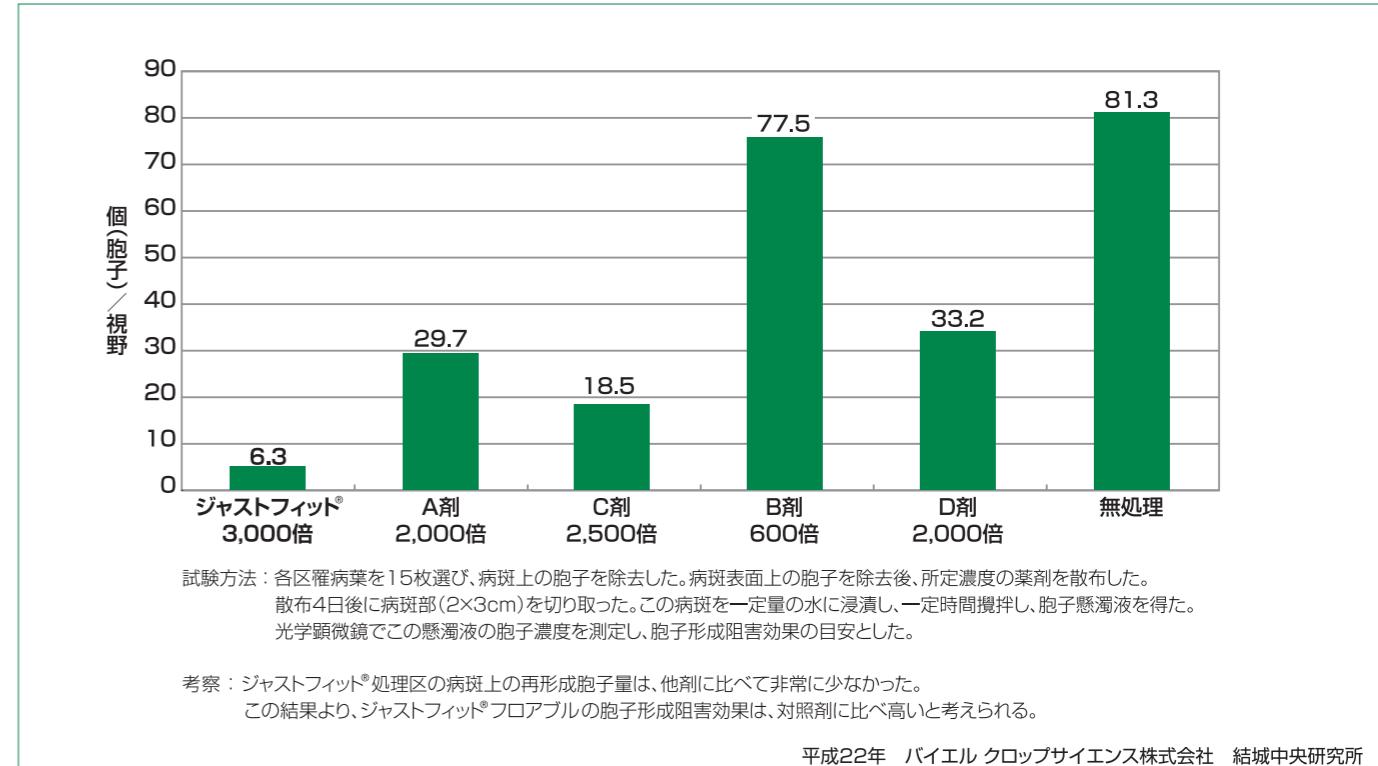
浸透性について（きゅうり べと病）



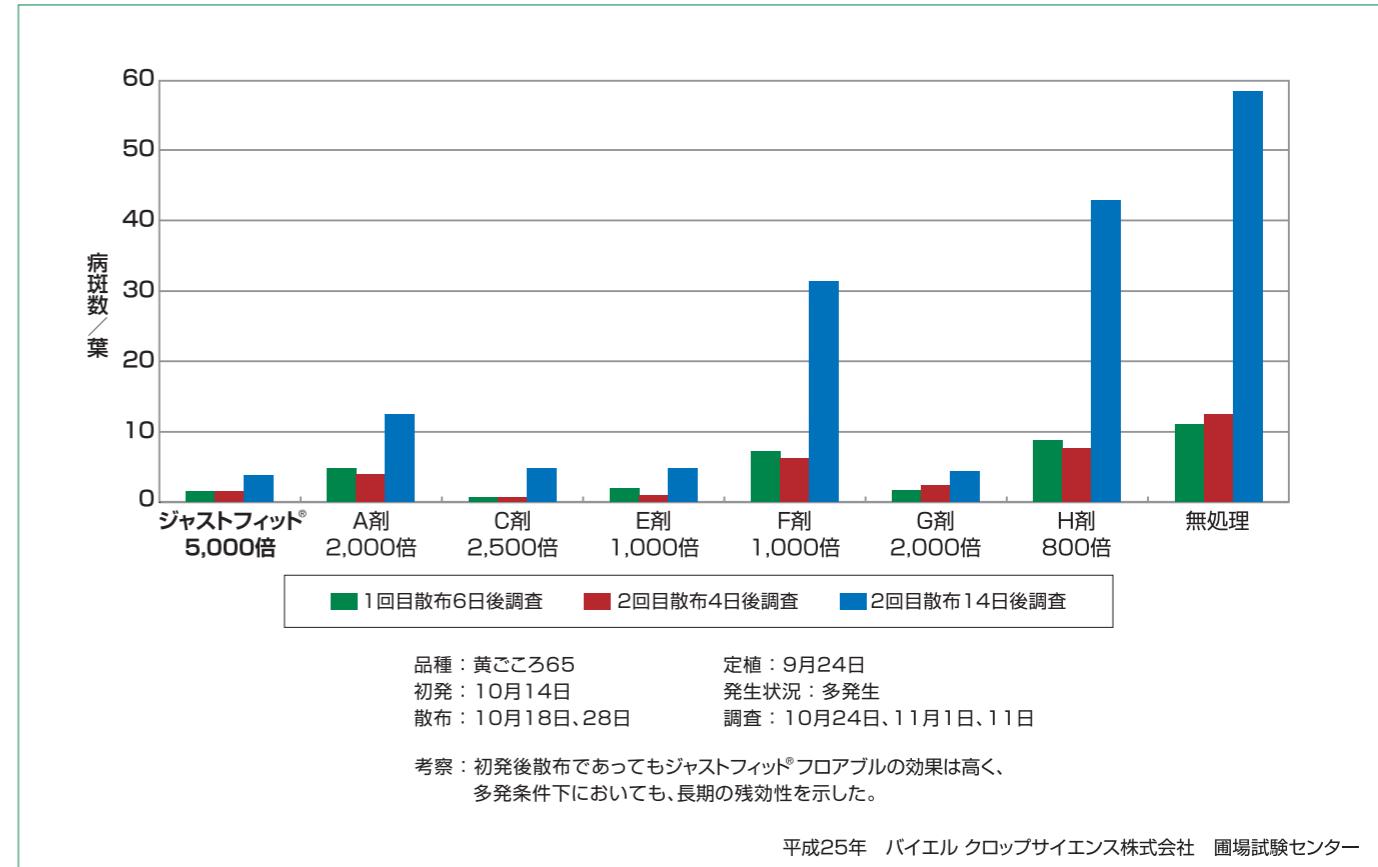
耐雨性について（きゅうり べと病）



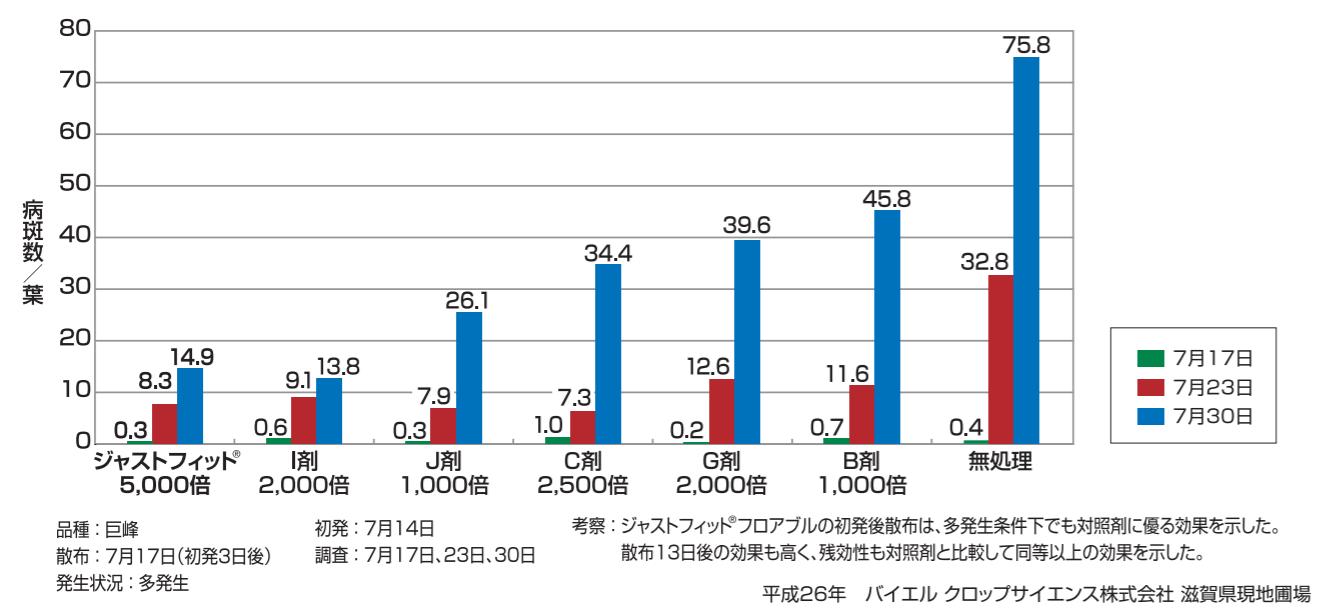
孢子再形成阻害（たまねぎ べと病）



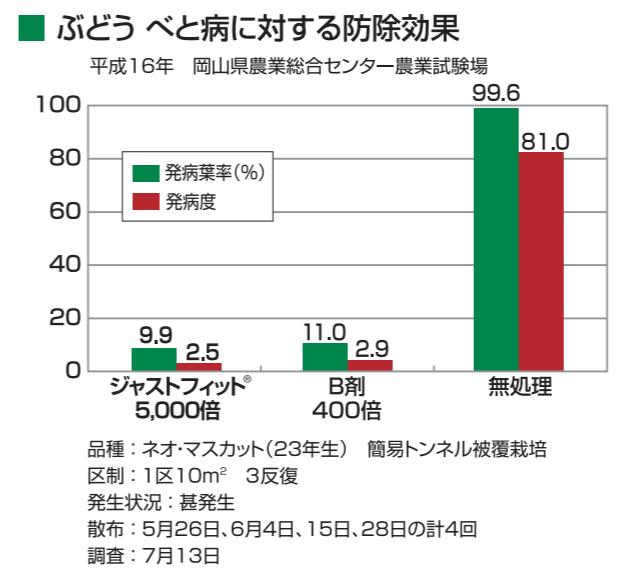
初発後散布による効果（はくさい べと病）



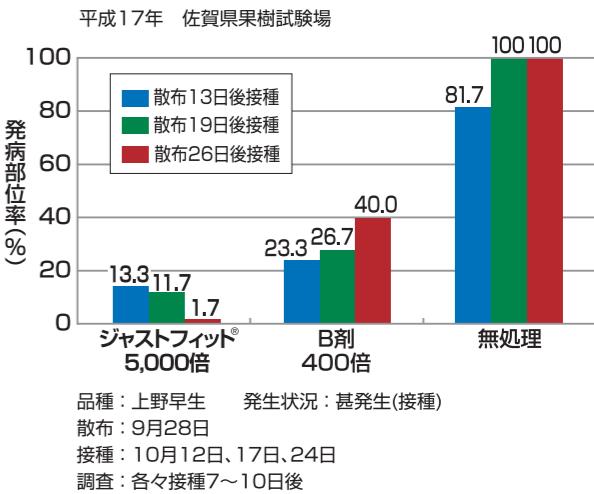
■ 初発後散布による効果（ぶどう ベと病）



■ 新農薬実用化試験成績（抜粋）



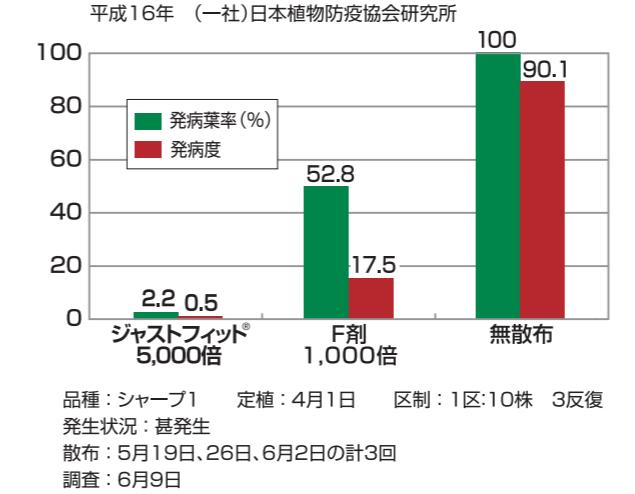
■ かんきつ 褐色腐敗病に対する防除効果



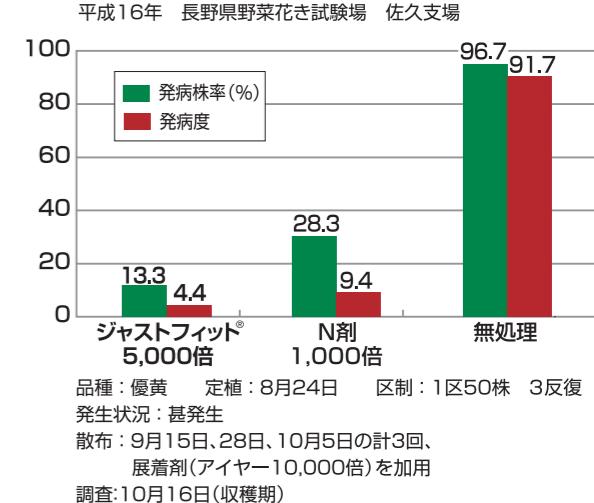
■ 果実の汚れ・果粉溶脱への影響



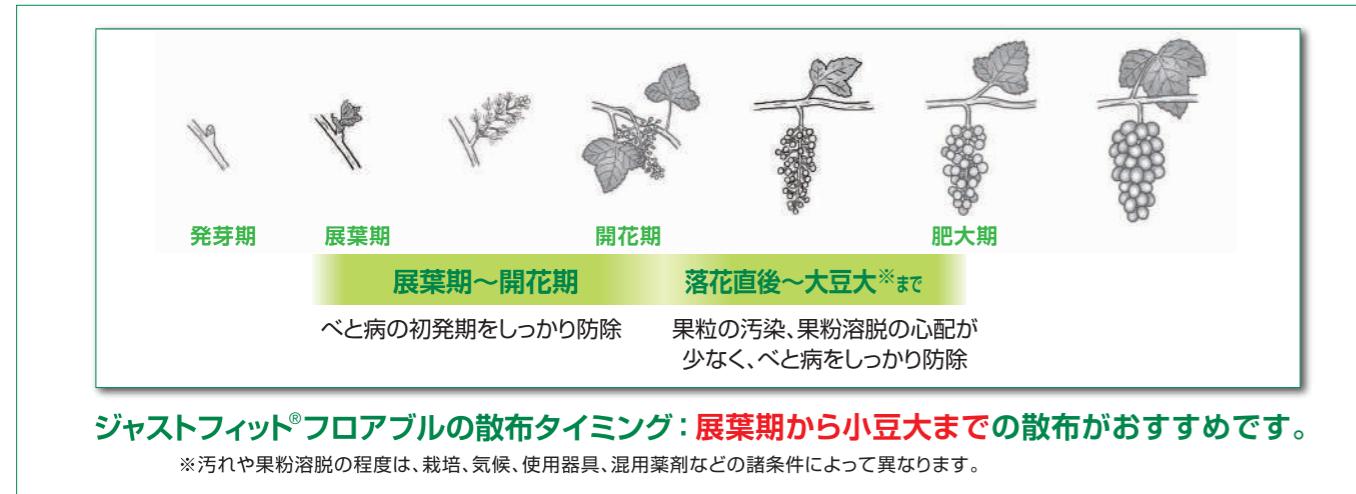
■ きゅうり ベと病に対する防除効果



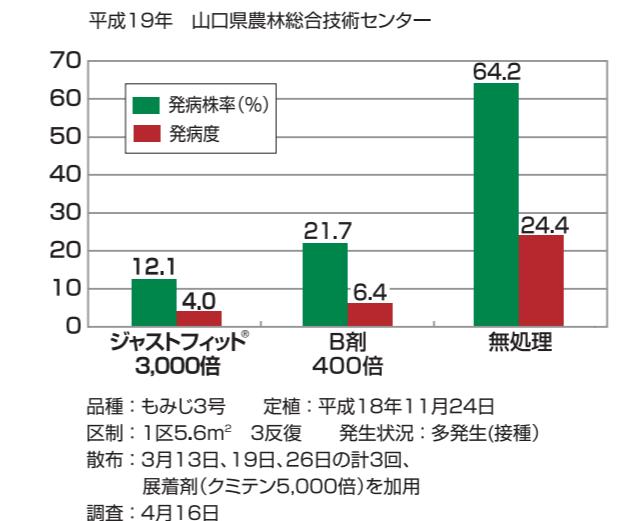
■ はくさい ベと病に対する防除効果



■ ぶどうにおける上手な使い方



■ たまねぎ ベと病に対する防除効果



■ たまねぎ 白色疫病に対する防除効果

